

教師・保護者の方へ

●環境学習の必要性

環境学習とは、単に環境問題について知識を得るだけでなく、環境に関心を持ち、「人と環境」の関わりについて自ら学び、考え、行動できる人を育てるための学習のことを指します。

これまで、私たちは物質的な豊かさと便利さを求め、資源やエネルギーを大量に消費し、現在の社会を築いてきました。その結果、温室効果ガスによる地球温暖化の影響による夏の記録的な猛暑、気象災害の頻発化、激甚化など、私たちの生活の中に異常気象や自然災害のリスクが高まってきています。

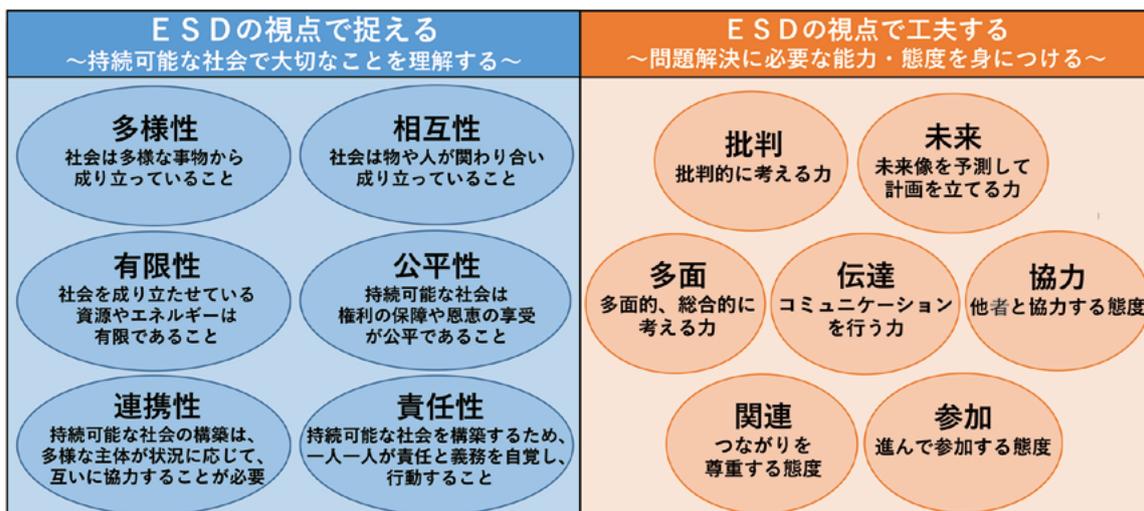
これから生きる子どもたちには、そのリスクが今以上に高まることも考えられ、環境解決を図るうえでは、環境や自然と人間の関わりについて正しく理解し、適切な行動を取る必要があります。環境学習は、これからの時代を生きる力を養う学習でもあります。

●持続可能な開発のための教育(ESD)と環境教育

持続可能な開発のための教育(ESD: Education for Sustainable Development)とは、「持続可能な社会の担い手を育む教育」のことです。

ESDは、人類が将来の世代にわたり、恵み豊かな生活を送ることができるよう、社会における様々な地球規模の問題を、一人ひとりが自らの問題として、主体的に捉え、身近にできることから取り組み、問題解決を図るための学習です。

文部科学省が平成29年3月に告示した新学習指導要領における各教科等の解説の総説には、「一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される」と記述されており、これからは、様々な学びの場において、ESDの視点にたった学習の実践が求められています。



ESDによる人づくりは、持続可能な開発目標(SDGs)の17のすべてのゴール達成につながります！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



かんきょうがくしゅう あんない 環境学習のご案内

群馬県では、環境に関する学習ができる様々な機会を用意しています。
みなさんの積極的な参加をお待ちしています！（参加には事前申し込みが必要です。）

動く環境教室

内容 ● 中学校の総合的な学習・理科等の時間で、温暖化防止、水質保全、ごみ・リサイクル、SDGsの4分野について、実験を通じて、体験的に学ぶ環境学習です。地域のボランティアが教えます。

開催時期 ● 毎年4月から3月まで

問合せ先 ● 群馬県環境サポートセンター 電話：027-226-2827



移動尾瀬自然教室

内容 ● 尾瀬の自然のしくみや、自然と人とのつながりから、わたしたちが自然を守るためにできること等を学ぶ出前授業です。プロジェクターの映像を中心にワークシート等を活用して楽しく学べます。

開催時期 ● 毎年12月から3月上旬まで

問合せ先 ● 群馬県 自然環境課（尾瀬保全推進室）電話：027-226-2881



小・中学校のためのフォレストリースクール

内容 ● 樹木・自然観察やネイチャーゲーム、林業体験、自然工作等、学校の希望に応じたプログラムで授業をサポートしています。

開催時期 ● 5月下旬から2月末日まで

問合せ先 ● 群馬県 林政課 電話：027-226-3216



群馬県では、「こども環境白書」がみなさんの環境学習にもっと役に立つように、これからも内容の見直しを行っていきたいと考えています。

こんな内容にしてほしい、こんな写真をのせてほしいという意見や、読んだ感想など、この白書についてのことでしたら、どんなことでもよいので、みなさんからのおたよりをお待ちしています。

また、学校の先生、保護者の方々からのご意見もお待ちしています。

問い合わせなど

こども環境白書 令和6年3月発行
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県環境森林部環境政策課

電話 027-226-2815

FAX 027-223-0154

Eメール kanseisaku@pref.gunma.lg.jp

